景勝日本ラインのまち
さかほぎ
ほぎもん

人口 8,213人（対９月比14人増）
2023.12.31 現在

Sakahogi gikai dayori
2024.2.1
No.182
年４回発行
（定例会毎）

議会だより

12／22
北方町義務教育学校（北学園・南学園）を視察しました
【関連記事P2～３】

北方町義務教育学校を視察しました …… 2～3
総務委員長から報告があります！①（所管事務調査）…… 4
総務委員長から報告があります！②（請願審査）…… 5
12月定例会　議案と審議結果、議会の決定で、町はどう変わるの？①（一般会計補正予算第５号）…… 6～7
どうなっとるのか教えてちょ～一般質問…… 8～14
12月臨時会　議案と審議結果、議会の決定で、町はどう変わるの？②（一般会計補正予算第6号）、編集後記 …… 15
二十歳を祝う会　おめでとうございます！ …… 16

総務委員会視察

北方町義務教育学校（北学園・南学園）を視察しました

視 察 日 時 令和5年12月22日（金）午前9時30分から正午まで
視　察　先 北方町役場～北方町立北学園～北方町立南学園

総務委員会（議員１０名）及び三品教育長・教育委員３名ほか総勢１６名で、坂祝町将来の学校・教育のあり方についての先進事例を学ぶため、北方町義務教育学校の視察を行いました。

最初に洒落てモダンな北方町役場において、北方町議会井野議長より「改修案から新築案に変更した結果、長期返済が残り、これからの財政の舵取りが大変だが、借金してでも新築して本当によかった。教育は建物と異なり目に見えないが一生背負っていくものであり、町として最善を尽くすべき。」 というご挨拶をいただきました。

次に郷教育課長よりご苦労話を交えた懇切丁寧な説明をしていただききました。

① 北方町は、小学校３校と中学校２校を義務教育学校２校に再編。併せて、幼稚園と保育園をこども園に統廃合した。

② 2017年（平成29年）北方学園構想を発表し、設計・建築工事を経て開校・開園したのが2023年（令和５年）４月。 ここまで足かけ７年かかったとのこと。

③ 合計８か所の校舎新築・改築・解体工事総額が、２８億６千万円。視察時新旧校舎の接続部や増改築部のあちこちに費用削減の工夫が見てとれました。設計された建築士のご苦労が手に取る様に伝わってくる建物でした。

④ 現在開校・開園後9か月経過し、教育システム変更の過渡期であり、今後２～３年は経過観察が必要で、新たな課題に対応する体制を取りながら子ども達を見守っているとのことでした。アフターケアの重要性が伝わって来ました。

▲あいさつをされる井野議長（北方町役場）

▲併設されたこども園（北学園）

▲広いテラスのある校舎（南学園）

▲明るい図書室（北学園）

次に、坂祝町議会からの質疑・応答を行いました。　**Q：坂祝町　A：北方町**

Q: 義務教育学校を目指した最大の理由は？

A: 小中一貫校化によって、新しい環境になじめない「中１ギャップ」 の解消や教科担任制の導入による学力向上を目指すほか、施設の効率的な活用による町財政負担を軽減するため。

Q: 教育システム移行時発生した問題点とその解決策は？また、後発の地方自治体が事前に準備しておくべき要注意事項は？

A: それぞれの自治体固有の課題と思われるので、保護者や児童生徒 地域住民に対して「丁寧に」説明を行い、顕在化した問題には、「その都度必ず」具体的な対応策を検討し実行する必要がある。

Q: 従来の小･中学校システムに対し義務教育学校のメリットは?

A: ①7･8･9年生が小さい子ども達と接することで､落ち着きが出た。
②5･6年生の教科担任制が子ども達に好評である。
③中一ギャップがなくなったが継続注視していく。

Q: 従来の小･中学校システムに対し義務教育学校のデメリットは?

A: ①６年生の活躍の場が減る⇒7･8･9年生と共に活動することで 新たなモチベーションつくりにつなげようと試みている。
②中１での新しい出会いがない。

その後、北学園、南学園の順に校内を視察させていただきました。内装に木材を多用し、広い廊下と採光豊かな明るい校舎というのが第一印象で、そこで学ぶ北方の子ども達の生き生きとした笑顔が浮かんできそうな素敵な校舎でした。

最後に広報編集委員長より、今後の北方町義務教育学校が紡ぐ新たな歴史にエールを送りつつ提案をしたいと思います。

それは「校舎の木質化の効能」についてです。

坂祝町将来の学校のあり方検討委員会の座長である岐阜大学教育学部古賀特任教授によると、「校舎の木質化は、子ども達のストレスや疲労感の緩和によりいじめや不登校を減少させ、眠気やだるさを著しく減らすと言われているので、総合的に見て学力の底上げの土台となりうるのではないか。」とのことです。最後は費用との相談になりますが、将来の子ども達のために、計画段階でぜひ議論していただきたい案件だと思います。

▲木を使った広い廊下（北・南学園）

【議会活動報告】 加藤県議会議員に要望書を提出しました

１２月２２日午後に岐阜県庁（議会棟）を訪問し、加茂地区選出の加藤県議会議員と面会し、一般国道２４８号線バイパスの４車線化の事業促進及び町内区間（大針地区）の早期着工を要望しました。本件は、自民党中濃県議団が１１月３０日に古田県知事に提出した「中濃圏域における各種施策実施に関する要望書」に含まれており、今回、坂祝町議会から再度、要望を行いました。

総務委員長から報告があります！①

所管事務調査

日にち:令和5年12月7日(木)

調 査 事 項 大王製紙株式会社坂祝工場及び可児工場の視察について

調査内容

大王製紙株式会社坂祝工場及び可児工場の視察を議会・町執行部合同で行いました。

大王製紙㈱坂祝工場・ダイオーロジスティクス㈱

現在は物流倉庫として稼働している坂祝工場では、近隣各地に分散していた倉庫保管分の60％を坂祝に集約できたので、物流効率が格段に良くなったことなどの説明を受けました。

▲坂祝工場内倉庫を視察する議員

大王製紙㈱可児工場

本体工場である可児工場（可児市土田）では、紙を製造する抄紙（しょうし）工程や家庭紙の加工工程などを視察しました。

▲可児工場内で抄紙工程を視察する町執行部

質疑・応答

Q：坂祝での生産開始予定は？
A：経済状況を踏まえ現在鋭意検討中です。
Q：新規雇用は地元からもお願いしたい。
A：物流部門は地元から中途採用実施中。
可児工場でも中途採用実施中、ぜひ応募にご協力を。
Q：大王製紙㈱の商品を坂祝町のふるさと納税返礼品に採用させて戴きたい。
A：生産設備稼働時にはご協力させていただく。
Q：よく坂祝に進出してくれました。
A：坂祝の地で「共存共栄」していきたい。地元にファンを増やしたいので、小学生の工場見学を大歓迎する。

議会からの意見・要望

a.大王製紙株式会社の製品を坂祝町のふるさと納税の返礼品目に追加していただくことで町の収入増が期待できる。企画課においては積極的に働きかけていただきたい。

b.大王製紙株式会社をもっと知っていただきたいという思いから、坂祝小学校の工場見学を受け入れる意向があるというお話があった。教育委員会においては坂祝町の児童・生徒の工場見学の検討をされたい。

c.大王製紙株式会社におかれては、地域に愛される企業として坂祝町に根差し、行政・地元住民と共存共栄していただけることを望みます。議会としても協力してまいりたい。

総務委員長から報告があります！②　請願審査

１２月定例会初日（１２月５日）に下記の請願について総務委員会に付託され、１２月７日に総務委員会において請願についての審査及び表決が行われました。総務委員会では、紹介議員から請願についての説明を受け、その後総務委員から質疑が行われました。最後に挙手による表決が行われた結果「不採択とすべきもの」となりました。定例会最終日に総務委員長から同結果の報告が行われました。

請願第１号　小中学校の給食無償化を求める請願書

【団体名】学校給食の無償化を実現する加茂地域の会 坂祝　【添付された署名者数】１，８４３名

【紹介議員】　松田賢治議員

【請願の趣旨】

憲法第２６条には「義務教育はこれを無償とする」とあります。これについて政府は、１９５１年に国会で「できるだけ早く広範囲に実現したい」とし、学校給食費もこれに含まれると述べています。しかしながら現在も、子どもの給食費の平均月額は小学生４，３４３円、中学生４，９４１円（２０１８年文科省調査）、小・中学生の子ども二人を持つ親の負担は年間１１万円を越えます。制服など、子どもの教育費は年々大きくなっており、中でも給食費の占める割合は５割を越えています。さらに現在は、コロナ禍での親の収入の減少、物価高騰が追い打ちをかけています。

坂祝町においても給食費の無償化は、町の予算の約１％程度で実現可能です。今すぐ長年放置されてきた給食費の無償化を行い、親の経済的負担を軽減して安心して子育てができる環境を整えるべきではないでしょうか。全国的にみても、給食費の無償化を実施する自治体は２５６（２０２２年１２月）にまで広がり、以降もさらなる広がりが見られます。一刻も早く憲法の理念通り、給食費を無償化すべきと考えます。

給食は、「食育」という教育の一環であり、心と体を育てるために欠かすことができないものです。子どもたちが安全に安心して食べられる給食の果たす役割は、今後ますます重要になっていくものと思われます。子育て世代の経済的負担を軽減し、未来を担う子どもたちの心身ともに健やかな成長のために、小中学校の給食費の無償化を行うべきと考えます。よって、以下の項目を実施することを求めます。

【請願項目】　１．小中学校の給食費の保護者負担分を無償にすること。
２．国が給食費の無償化を行うよう、意見書を政府に送付すること。

総務委員会の表決結果「不採択とすべきもの」

表決結果　**◎…採択とすべきもの　×…不採択とすべきもの**
賛否状況　**○…賛成　×…反対　―…委員長は表決に加わらない**

		表決結果	委員名									
			佐藤猛	宮内聰樹	三品幸範	兼松雄司	伊藤敬宏	林重光	松田和樹	和田雅彦	竹内浩一	松田賢治
請願第１号	小中学校の給食無償化を求める請願について	×	×	×	×	○	×	×	×	×	―	○

１２月定例会最終日（１２月１２日）請願第１号　小中学校の給食無償化を求める請願について審議・採決が行われました。

総務委員長からの上記審査結果報告の後、下記の６名議員から賛成・反対の討論がありました。採決の結果は、「不採択」となりました。

【討論内容】

○賛成 松田賢治議員
1,843筆（町民の22%）の署名は重い。給食費無償化はすべての親の願い。
国の無償化に先んじて町が無償化することに意義がある。

× 反対 佐藤 猛議員
学校給食の無償化はぜひ進めてほしいと思いますが、憲法第２６条により国の責任において進められるべきものである。

○賛成 兼松雄司議員
子育て世代の負担軽減を重視して賛成。国への意見書提出にも賛成。

× 反対 伊藤敬宏議員
将来の人口減少による地方交付税の減少や、社会保障費・公共インフラ整備・小中学校の建替え等今後出費が増加し、そのツケを将来の子ども達に回したくない。

○賛成 竹内浩一議員
町内の２割超の親の要望を大事に受け止めるべき。
国がやらないから町でやる意義が大きい。

× 反対 林 重光議員
署名の重みはすごく感じるが、国も動き出しているので、町行政の優先順位をしっかりわきまえたうえで反対。国への要望はしっかり伝えていきたい。

審議結果「不採択」**※賛否の状況については、P7をご覧ください。**

12月定例会

令和５年第４回坂祝町議会定例会は、１２月５日から１２月１２日までの８日間の日程で開催されました。提出議案は条例案件９件、予算案件６件、その他案件１件、請願１件、発議１件で、それぞれ審議・採決した結果、以下のとおりとなりました。

議案と審議結果

議決結果　◎…可決、認定、同意、採択　△…修正可決　×…否決、不認定、不同意、不採択
賛否状況　○…賛成　×…反対　―…議長は採決に加わらない

議案番号	議案名 主な内容	議決結果	議員名 ①佐藤猛	②宮内聰樹	③三品幸範	④兼松雄司	⑤伊藤敬宏	⑥林重光	⑦松田和樹	⑧和田雅彦	⑨竹内浩一	⑩松田賢治
議案第 52 号	坂祝町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告による国家公務員給与改定に準拠し、議員の期末手当支給月数を０．１月分引き上げる改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 53 号	坂祝町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告による国家公務員給与改定に準拠し、常勤の特別職の職員の期末手当支給月数を０．１月分引き上げる改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 54 号	坂祝町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告による国家公務員給与改定に準拠し、本町職員の給与表の改定及び期末勤勉手当支給月数を０．１月分引上げ等の改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 55 号	坂祝町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告による国家公務員給与改定に準拠し、本町会計年度任用職員の給与表の改定及び期末手当支給月数を０．１月分引上げ等の改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 56 号	坂祝町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について 地方税法及び地方税法施行令の一部改正に伴い、産前産後期間に係る国民健康保険税の減額措置を講じるため改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 57 号	坂祝町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について こども家庭庁設置法等の施行に伴う内閣府令に準じるため、所要の改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 58 号	坂祝町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について こども家庭庁設置法等の施行に伴う内閣府令に準じるため、所要の改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 59 号	坂祝町町営住宅条例の一部を改正する条例について 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律の一部を改正する法律の施行に準じるため、所要の改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 60 号	坂祝町空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例について 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行に準じるため、所要の改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第 61 号	令和５年度坂祝町一般会計補正予算（第５号）について ２，２００万円を減額し、総額を３８億２，８４９万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○

			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
議案第 62 号	令和５年度坂祝町国民健康保険特別会計補正予算（第３号）について ３９万円を追加し、総額を９億５，６２２万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第 63 号	令和５年度坂祝町後期高齢者医療特別会計補正予算（第３号）について １９万円を減額し、総額を１億２，６６１万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第 64 号	令和5年度坂祝町介護保険特別会計補正予算（第3号）について １，４２０万円を減額し、総額を６億７，２８０万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第 65 号	令和５年度坂祝町水道事業会計補正予算（第２号）について 水道事業費用に３４万円、資本的収入に２，４４３万円、資本的支出に８，８００万円をそれぞれ追加	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第 66 号	令和５年度坂祝町下水道事業会計補正予算（第２号）について 下水道事業収益及び下水道事業費用に７万円をそれぞれ追加	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
議案第 67 号	工事請負変更契約の締結について 上水工第5−1号　深萱・勝山地区配水管布設替工事（1−10） 変更前：71,500,000円　変更後：77,898,700円	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
請願第 １ 号	小中学校の給食無償化を求める請願について 【請願項目】※関連記事 P5 1. 小中学校の給食費の保護者負担分を無償にすること 2. 国が給食費の無償化を行うよう、意見書を政府に送付すること	×	×	×	×	○	×	×	×	—	○	○
発議第 ２ 号	坂祝町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について 請負をした議員については支払いを受けた合計額の議長に対する報告等を義務付けるため条例を制定	◎	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○

議会の決定で、町はどう変わるの？ ①

令和５年度坂祝町一般会計補正予算（第５号）　2,200万円減

主な追加・減額事業

・給与及び賞与の改定（人事院勧告等による）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,011万円
・総合行政情報システム運用事業（実施年度変更等による）・・・・・・・・・・・△1,436万円
・戸籍コンピュータ化事業・住民情報システム経費（振り仮名対応による）・・・・1,117万円
・町長・町議会議員選挙事務経費（無投票による）・・・・・・・・・・・・・・・・△853万円
・介護保険会計事業繰出金（システム改修分）・・・・・・・・・・・・・・・・・・△1,325万円
・重点交付金（低所得世帯支援分）事業（実績による）・・・・・・・・・・・・・・△552万円
・子ども・子育て支援事業計画策定・推進事業（新規）・・・・・・・・・・・・・・・351万円
・新型コロナウイルスワクチン接種事業（実績による）・・・・・・・・・・・・・・△440万円
・上水道事業会計繰出金（国基準該当工事分による）・・・・・・・・・・・・・・・1,210万円
・安全な道路整備事業・幹線道路整備事業（入札差金及び仕様変更による）　・・・△995万円
・河川改修事業（工事等入札差金による）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・△598万円
・無線管理経費（無線機購入入札差金による）・・・・・・・・・・・・・・・・・・△350万円

どうなっとるのか 教えてちょ～!!

松田 和樹 議員

動画QRコード

問 予算編成について

裁量的経費はゼロシーリングを基本としているが、成果、問題点についてお聞きします。

答 企画課長

各課への配分が決まっているため、より効率的な事業実施を行えるよう「スクラップ＆ビルド」を意識した事業の考え方が浸透して来たことや、一般財源だけに頼らず、国、県、その他団体等からの交付金、補助金を活用する意識がより向上されたことが挙げられます。問題点としては、義務的経費に係る事業費の増加や人件費の増加などにより、裁量的経費として対応できる経費が減少となるため、新たな事業の採択などに影響が出ていることなどではないかと考えます。

問 新たな事業の採択については、住民サービスの向上、人材育成においても問題ではないのか。

答 町　長

各課から提案のあった事業は、ヒアリングにおいて有効性などを検討し年度を変えての実施なども話しています。事業の継続性や他の事業との優先順位なども考え判断しながら提案しやすい環境についても考えていきます。

問 ふるさと納税、企業の協賛等、自主財源の確保が出来る魅力的なまちづくりや各事業展開を図るとあるが、努力を感じられない。今後はどのように努力されるのかお聞きします。

答 企画課長

ふるさと納税の強化を実施しており、来年度までの２年間で、徐々に形として行けるよう、返礼品の強化・発掘に合わせて寄付サイトの強化も踏まえた事業を行っているところです。町内で実施出来る役務の提供に関しても町だけでなく町内各企業様のご協力により実施出来ないかなどの検討を行っているところであり、ふるさと納税の増額となるよう努力しているところであります。

令和４年度坂祝町ふるさと納税使い道実績

竹内 浩一 議員

動画QRコード

問 再度、自治会加入率の減少について

現在黒岩地区では新しい家がかなり多く建設され、転入者に自治会加入の促進に自治会長さ

んが回られています。しかし多くの方がメリットは何ですか、年会費はいくらか、奉仕作業は何日かと聞かれ、お答えすると断られる方が多い状態です。

また、その中でも「赤十字や緑の羽根、社協の寄付金等は自治会未加入者はどうなっているのか？」と聞かれ自治会長さんは困られています。このような現状で各自治会だけにお任せで、以前の回答では転入者に加入のチラシを渡すだけで加入には至らないのが現状です。

今後自治会加入の魅力を伝えられるよう工夫したいと言われましたが、行政はどんな工夫をされているのかを質問します。

答　総務課長

自治会を行政の中心的な位置づけと捉えていること、また行政と自治会は切っても切れない関係にあるとの認識については現在も変わりありません。前回の答弁において、今以上に自治会長さんの声をお聞きし、自治会加入の魅力を伝えられるよう工夫したいとお答えしました。

しかし、この９か月の間に特に主だった動きは出来ておりません。今後については、自治会に入って「良かった」こと、「うれしかった」ことなどを実際に町民にお聞きして、加入お願いのチラシの裏面に掲載し、紹介できたらと考えています。

また、ホームページ上にも新しくしたチラシを掲載していけたらと思っています。

再質問　自治会未加入者への寄付金等はどうなっていますか。

答　総務課長

未加入者には何も行っていない。未加入者の集金等は不可能です。

松田 賢治 議員

動画QRコード

問

持続可能な地域医療体制の確立及びコロナ禍の検証を視野に入れた町づくりについて

令和５年に策定された岐阜県第８期保健医療計画に基づき、坂祝町ならではの医療提供のあり方を示してください。

答　町長

現在、町内３つの診療所と２つの歯科医院また、隣接する美濃加茂市の区域に６つの診療所があります。救急告示医療機関の中部国際医療センターと太田病院も近接しており、加茂医師会では休日急患診療体制を構築し、恵まれた医療提供の環境にあると思います。ご質問にあります中濃２次医療圏に新たな救命救急センターの指定を求める要望についても、可茂地域１０市町村長連名の請願書を令和３年１２月１日に美濃加茂市長から県知事に提出しています。

問

公共施設等総合管理計画の見直し及び固定資産台帳の整理・財務４表・公会計について

各種施設ごとの個別計画見直し状況及びこれまでにおける財務書類等の活用状況について報告してください。

答　総務課長

町内公共施設の改修については、令和６年度から令和１３年度までの間の修繕内容・費用・実施年度等の一覧を作成しています。令和１４年度以降も見直中です。修繕一覧につきましては速やかに議員の皆様にも提供します。

問 インクルーシブ教育の重要性、合理的な配慮ができる人的・設備的な体制をさらに充実させる必要性について及び通級指導・放課後等デイサービスとの連携について

それぞれの現状について報告してください。

答 教育課長

教育委員会としましてはインクルーシブ教育の重要性を認識しており、町立小中学校では、障害のある児童生徒とない児童生徒が一緒に学べる場として、特別支援学級の児童生徒が通常学級の児童生徒と交流する教科や時間をつくっています。その場で困ったことが生じた場合は、特別支援学級の教育課程にある自立活動などを通して振り返り、少しでも社会性を身に付けられるような指導がなされています。

今年度のＬＤ／ＡＤＨＤ等通級指導教室には、本町だけで３０人が通っています。 言語通級指導教室は、来年度の入級者数は２７人で確実に増加しており、町立幼稚園の保護者から入級を希望する声が出るほどこの教室の指導が好評です。

障害を持つ子と持たない子が共に学べる環境づくりのため、体制整備と連携強化、予算措置ときめ細かな配慮を今後も継続します。そのために地域の方たちの理解が欠かせません。

佐藤　猛 議員

動画ＱＲコード

問 ゼロカーボンシティ宣言はしますか？

ゼロカーボンシティ宣言をし、脱炭素社会の実現を目指していく姿勢を町民や町内企業の方々に示していく必要があると考えますが、町としての考えは。

答 町長

その必要性は強く認識しております。坂祝町が目指す施策「坂祝町地球温暖化対策実行計画」や「環境基本計画」などと、ゼロカーボン事業の取組が合致し、実際に目標達成が出来る見込みが立った時点で、ゼロカーボンシティを宣言し、事業に取り組んでまいります。

問 「企業の森」の誘致は？

企業も脱炭素社会、カーボンニュートラルの実現に向けて、今後益々ＣＯ２等の温室効果ガスの排出される削減努力とともに、ＣＯ２を吸収するための森林整備や植樹などのカーボンオフセットのニーズが高まると思います。坂祝町で、この企業の森を推進し誘致する考えはありますか。

答 産業建設課長

企業が活動しやすい場所、集いやすい場所、また、地域住民との交流等を考慮すると、企業の森の候補地として考えられる場所は加茂山にある町有林（約０．８ha）が良いのではないかと考えています。地元自治会や周辺の土地所有者と調整を図りながら候補地として推薦していけるよう進めていきます。

問 Ｇークレジット制度の登録は？

Ｇークレジット制度とは、県内の適切に管理された森林による二酸化炭素吸収量をクレジットとして県が認証する岐阜県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度です。 認証されたクレジットは、売買することができ、購入者はカーボンオフセット等に活用できます。また、購入代金は、クレジット創出者に還元され、森林整備につなげることができます。坂祝町で対象となる森林はありますか。

答 産業建設課長

対象森林のすべてが民有林であるため、町が申請者となり事業を行っていくには土地所有者の方々に対し事業の説明を行い、同意を得る必要があります。 申請ができるかどうかを含め、調査・研究を進めていきます。

三品 幸範 議員

動画QRコード

問 基金積立、規模をどの程度までにするのか

今後大きな事業（行政サービス）として学校の建替（施設の老朽化）、河川工事などの事業を抱えております。期間も長く見通し（方向性）が難しくなるのでないかと思います。基金積立の考えを聞かせてください。

答　企画課長

柴山町長になった際に、必要な積立額として『１０億円』を明示していますが、それ以外の基金は基本的に必要となる積立額は設定しておらず、年度ごとの予算状況に応じての運用となっています。

問 学校の建替の準備についてお聞きします。

答　町長

資金はこの 3 年間毎年 3 千万円を積み立ててまいりましたが、決して事足りる金額にはならないと考えております。新年度予算では、３千万円の積み立てを計画しておりますが、９月の決算において繰越金の金額に応じて、少しでも多く将来のために積み立てて行きたいと考えています。

学校の建替時期につきましては、２０２２年改訂版の『公共施設等管理計画』にうたっておりますように１０年を目途として考えて行きますが、これから作成していきます基本構想を重視しながら、物価高騰・人件費の増加色々な課題等も鑑み、慎重に検討してまいります。申し添えますが、公共施設管理計画に基づき、適正に事業を進めてまいります。

問 河川工事ついて今後の事業計画をどのように進めていくかお聞ききします。

答　産業建設課長

『緊急自然災害防止対策事業債』を活用し実施しております。この事業債は令和７年度までとされているため、令和８年度以降の財源については、再度、活用できる事業債や補助金等を調査し、財源の確保を図ってまいりたいと考えております。

整備の優先順位について 現在予定されている河川関係の整備区域といたしましては、西谷地区及び大針地区の調査を終え、順次進めることとしています。

事業予定箇所以外で、被害が大きい場合は、再度、調査を行い優先順位の付け直し等を検討してまいります。自治会要望で地域の状況等をお知らせいただけるとありがたいと思っております。

問 坂祝駅の開発の現況について

今年 10 月に日本郵政、JR 東海、坂祝町との話し合いが行われたと聞いておりますが、話し合いの結果をお聞かせください。また今後の計画はどのように進めるか、お聞かせください。

答　副町長

次回は 12 月 20 日に JR 東海にて、日本郵政関係者、坂祝町で協議する日程が決まったところです。

今回の協議で確認する内容は、

① JR のトイレ廃止に伴うトイレの設置について
② 設計段階における GL（グランドレベル）の調査
③ 郵便局内のスペースの活用方法
④ 駐輪場と駐車場について

３社の協議がまとまり、平面的なレイアウトが完成したところで地元説明会等々について協議する予定です。結果については、順次報告させていただきます。

宮内 聰樹 議員

動画QRコード

問 坂祝町の水害対策について

① 坂祝町のひ管の排水能力は十分ですか？
② 常設排水ポンプ設置を要望します。
③ 町委託のポンプ・ホースの性能見直しを。

答 産業建設課長

①木曽川の各排水ひ管は整備当時の流出量を算定し断面を決定されましたが、流出量は宅地開発や短時間豪雨の増加により年々増加しています。内水氾濫は、町内の長時間豪雨により排水ひ管の流下能力を超えた時や、木曽川増水により排水ひ管のゲート閉鎖後の町内の降雨で起き、令和３年の内水氾濫は後者と考えています。

②リモート操作の排水機場の常設について、工事費は1箇所当り1億5千万円程度で坂祝町単独での工事は困難な為、これまで国に対し取組地内でのポンプ設置を要望していますが、実現できておりません。引き続き遊水池の活用やポンプ車等により内水氾濫を減災に尽力すると共に、国に対しポンプ設置を継続要望します。

③ホースを買い換えて効果があれば対応します。

問 坂祝町学校のあり方検討の進め方について

① 諮問の取りまとめを１年と決めた理由は何ですか？
② 今年から小中学校建替え後新しい教育システムが根付くまでの１０数年間の大日程を示してほしいです。

答 教育長

①令和４年３月の「坂祝町公共施設等総合管理計画」では、現在の小中学校は老朽化及び土砂災害や水害の影響を受ける可能性があるため、概ね10年後を目標に安全な場所への施設統合を検討するとあり、今回の「坂祝町学校の将来のあり方検討委員会」を立ち上げ、坂祝町の教育大綱を実現し子どもたちにとってどんな教育課程がよいのかというテーマに絞ったうえで専門家による1年での見通しを考えました。

②令和６年度には、あり方検討委員会の答申をもとに教育委員会が学校運営協議会や保護者や地域の方々への説明会を行い基本構想をまとめ、令和7年度には 各課横断の設立準備委員会を立ち上げ、事業地や基本設計を検討していく中で、全体計画は策定されると考えます。

兼松 雄司 議員

動画QRコード

問 学校の安全について（１）安全点検について

① 実施状況と点検結果の扱いについて
② グラウンド等に残された釘の点検の実施状況と点検結果（今後の対応策を含む）について

以上、２点伺います。

答 教育課長

①施設設備の安全点検の実施は、専門業者に委託して実施しています。学校で行っている校内安全点検は、毎月1回実施されています。点検後は、報告を受けた校務主任が「安全点検の結果と対応の状況報告書」を作成し、教頭、校長の決裁を得ます。その後、必要に応じて修繕を行っています。

②小学校・中学校ともに実施いたしました。小学校では運動会前に教員が人海戦術で、中学校では、金属探知機を使用して実施しました。いずれもごく少数だったとの報告を受けてます。

今後は、釘等を打った場合には、その都度抜くよう指導して行きます。

問 （２）不審者侵入防止対策について

不審者の侵入防止対策の現状を伺います。

答　教育課長

年１回は、校内に不審者が侵入した場合の避難経路の確保や関係機関との連絡体制、教職員の役割分担等を確認しております。ハード面では、小学校・中学校とも校門や玄関に防犯カメラを設置し、不審者等の侵入に備えております。小学校は、玄関・東門・体育館の３カ所。中学校は、校門と玄関の２カ所に設置しています。

問 （３）下校時の防犯対策について

① 下校時の防犯対策の現状と課題について

② 通学路への防犯カメラの設置状況（データ提供の有無を含む）について

以上、２点伺います。

答　教育課長

①児童生徒の登下校時は、地域学校安全サポートチームを中心に地域の方々に見守り活動をしていただいております。小学生は、低学年同士や高学年同士で集団下校し、下校時には防災行政無線で全町民に周知しています。課題は、集団下校解散後の自宅までの末端の通学路で、見守りが手薄になることです。

答　総務課長

②現在、坂祝駅前、勝山バイパス地下道、中学校西側坂道を降りた交差点（深萱地内）、中学校東側坂道を降りた交差点（幼稚園付近）の４カ所に設置しています。データの提供は、要綱に則って、警察からの要望があれば行っています。

伊藤 敬宏 議員

動画ＱＲコード

問 企画課設置の実績と今後について

柴山町長の肝煎りで立ち上げた企画課ですが、企画課として財政以外で行った実績や結果を教えてください。

答　企画課長

パジェロ製造株式会社の工場閉鎖が令和２年７月に発表となり、跡地利用促進のための企業誘致条例の制定や町内での取り引き会社への影響調査（訪問聴き取り）など県と連携しながら実施しました。新たに「空き家改修補助金」「移住補助金」などの事業を、県の補助なども受けて実施しています。また、町民まつりなどを始めとするコロナ禍前からの実施事業も再開していますので、時代に則した手法での開催などを心掛けて実施していきたいと考えます。

問　今後、どのような税収を生む活動をしていくのか。また、収入確保計画。目に見えるビジョンを示していただきたい。

答　企画課長

歳入確保に向けては、国・県等交付金・補助金の活用や利用額等の見直しなどを継続しながら、ふるさと納税の強化に努めていきます。具体的には令和４年度決算額・令和５年度の見込み額を大幅に上回る５百万円超を歳入額と想定した強化事業への取り組みを行っているところであります。

問 小中学校の建設について

小中学校建設事業は、大げさかもしれませんが坂祝町にとって今後 100 年間で、一番大きな事業になると考えています。柴山町長のお考えをお聞かせください。

答　町長

学校の建替時期につきましては、２０２２年改訂版の公共施設等管理計画にうたっておりますように１０年を目途として考えていきますが、現在の物価高騰・人件費の増加色々な課題等も鑑み、慎重に検討して参ります。

問　新しく何かを造ろうとしたとき、造る方ばかりに目がいきがちだと思いますが、今の校舎のあり方はどのようにお考えでしょうか。

答　総務課長

学校建設の計画が具体的なものになってくる段階では、当然現在の校舎・敷地等の活用について並行して考えていく必要があると認識しています。旧施設ができるだけ新校舎の建設の財源を生み出すよう計画性を持って検討していく必要があると思っています。他市町村の事例等に目を配り、あらゆる可能性を探り、新校舎建設同様に力を注いでいきたいと考えています。

林　重光 議員

動画QRコード

問　GIGAスクールの課題と対策について

坂祝町の小中学校の端末利活用の実情をお聞きします。

答　教育課長

小学校では、学年が上がるにつれ、タブレット端末の使用頻度が高くなっています。中学年以上の総合的な学習では、海外や他県の小学校と結んで現地の方と交流する授業も行っております。最近では、ＪＩＣＡに派遣していただいた６ヵ国の外国人講師が、母国の歴史や文化についてタブレットと電子黒板を活用した授業を行いました。今後は、外国籍児童がタブレットのカメラ機能を使用して同時翻訳機能により日本語を母国語に翻訳するなど主体的な学習に挑戦するとしています。

中学校では、小学校と同様に病気療養中や不登校傾向、相談室登校の生徒が、その場にいながら教室の授業を双方向で受けられるよう対応しています。修学旅行の際には、行き先の情報や東京での電車の乗り方など事前に情報収集したことで、当日の自由行動ではスムーズな移動や研修活動ができました。最近では、受験を控えた３年生が、進路学習において自身が関心のある高等学校の情報を集めて希望進路の参考にしています。

問　坂祝小学校６年生の利用率はどうでしょうか。

答　教育課長

今年度行われた『令和５年度全国学力・学習状況調査』の結果によりますと、「５年生までに受けた授業で、パソコンやタブレットなどのＩＣＴ機器を、どの程度使用しましたか。」の質問に対して、①ほぼ毎日　１７．１％　②週３回以上　２５．６％③週１回以上　２６．８％④月１回以上　２４．４％　⑤月１回未満　６．１％という回答でした。（現小学６年生８２名が回答）６年生はほぼ毎日、何かの授業で使用しています。

問　小・中学校教員のＧＩＧＡ環境を前提とした教育の充実の実情をお聞きします。

答　教育課長

本町ではＩＣＴ支援員を配置し、教員を対象にタブレット端末の操作方法やデジタルアプリの使い方、タブレット端末を活用した授業のやり方などのサポートを行いました。その成果として現在では全教員がタブレット端末の操作を習得し、ＩＣＴを活用した授業が可能になっています。日頃は、小中学校それぞれで選抜された情報主任が、ＩＣＴ技能を習得しそれぞれの学校で、学年ごと、教科ごとで各々のレベルや課題に応じた勉強会等を開催し、全教員が技能向上に努めています。また、中学校では、全校研究会として教諭１人をモデルにして、タブレットを活用した授業の様子を全教員が見学し、終了後に授業の進め方やタブレットの活用の仕方などの意見をみんなで出し合って検証しています。こうした取り組みによって、授業を行った教諭だけでなく全教員が知識を共有し、今後の授業に活かされるものと考えています。

12月臨時会

令和５年第３回坂祝町議会臨時会を12月25日に開催しました。提出議案は条例案件２件、予算案件１件で、審議・採決した結果、以下のとおりとなりました。

議案と審議結果

議決結果　◎…可決、同意、採択　△…修正可決
　　×…否決、不同意、不採択
賛否状況　○…賛成　×…反対　―…議長は採決に加わらない

議案番号	議案名／主な内容	議決結果	議員名 ①佐藤猛	②宮内聰樹	③三品幸範	④兼松雄司	⑤伊藤敬宏	⑥林重光	⑦松田和樹	⑧和田雅彦	⑨竹内浩一	⑩松田賢治
議案第68号	坂祝町印鑑条例の一部を改正する条例について 個人番号カードに加え、利用者証明用電子証明書が記録された移動端末設備を使用して多機能端末機から印鑑登録証明書の交付ができるよう改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第69号	坂祝町手数料徴収条例の一部を改正する条例について 戸籍法の改正に伴う地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正により、戸籍謄本等の広域交付及び戸籍（除籍）電子証明書提供用識別符号の発行ができるようになったことに伴う改正	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	○	○
議案第70号	令和５年度坂祝町一般会計補正予算（第６号）について 7,４２４万円を追加し、総額を３９億２７３万円とする	◎	○	○	○	○	○	○	○	―	×	○

議会の決定で、町はどう変わるの？②

令和５年度坂祝町一般会計補正予算（第６号）　7,424万円増

歳　入

- 物価高騰対応重点支援地方創生臨時（国）交付金 ・・・・・・・・・・・・ 6,478万円
- 財政調整基金繰入金 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 946万円

歳　出　主な追加事業

- 重点交付金事業（低所得者世帯支援分） ・・・・・・・・・・・・・・・・ 4,664万円
  低所得者世帯への７万円の給付費及び事務経費を計上。
- 物価高騰対応重点支援地方創生交付金事業　推奨事業メニュー ・・・・・ 2,740万円
  （消費下支え等を通じた生活者支援）
  物価高騰の影響があるすべての町民に１人当たり3,000円の商品券を配布。
  商品券は町内での消費・交通の利便性・地域貢献度なども考慮し、町内に店舗のあるスーパーが発行する商品券を配布予定。

編集後記

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
目まぐるしく変化する社会情勢の中、大きな転換を迫られている状況です。将来にわたって持続可能な町にしていくためにも、一人一人の意識が大切になってきます。次世代を担っていく子どもたちのためにも、少しでも多くの方々に危機感を持ってもらえる、関心を持っていただけるような議会だよりを作ってまいります。

広報編集委員会
委員長　宮内 聰樹
副委員長　兼松 雄司
委　員　三品 幸範
委　員　伊藤 敬宏

祝 二十歳を祝う会 おめでとうございます！

二十歳を祝う会実行委員会の皆さんに、坂祝町の魅力や望むことなどについて語っていただきました。
❶坂祝町のここが好き　❷私が望む坂祝町の未来像　❸坂祝町議会に期待すること

❖天田（あまだ） 琉暉（りゅうき） さん

❶優しさと笑顔の溢れる人でいっぱいなところ。
❷子どもからお年寄りまでみんながコミュニケーションをとり合える町。
❸クラウドファンディングを活用した取り組みの実施。

❖尾崎（おざき） さくら さん

❶人が温かいところ。大学生になって昔のように毎日通学路で会う機会がなくなったのにたまにお会いすると、相変わらず声掛けをして下さるので、坂祝の方々の温かみを感じる。
❷大人になって町外で生活するようになっても、「また帰りたい」「年に数回は帰ろう」と思える町であってほしい。少子化だけど、子供たちがキラキラ元気な町であってほしい。
❸工場閉鎖や町民プールの閉鎖、町民運動会の廃止など、町民が大好きだった場所やイベントがなくなり寂しい。新しい時代の新しい町おこしイベントを考案してほしい。

❖佐藤（さとう） 広武（ひろむ） さん

❶自然が豊かで、安心して暮らせるところです。
❷誰もが暮らしやすく、活気のある町であって欲しいです。
❸子どもの居場所が減少している中で、地域の方と交流のできる場が増えることを期待します。

❖髙橋（たかはし） 志歩（しほ） さん

❶自然が豊かで落ち着くところです。帰ってきたいなと思えるアットホームな雰囲気が好きです。
❷坂祝町に住む人みんなが安心して暮らし続けられる町で在り続けてほしいです。
❸子どもから大人まで、坂祝町に住む人みんなの声に耳を傾け、町民に寄り添いながら、安心して住み続けられる環境作りをしてほしいです。

ほぎLOVE

二十歳を祝う会実行委員会の皆さんおつかれさまでした。
明日の坂祝町を担う皆さんのご活躍を期待しています。

発　行　岐阜県加茂郡坂祝町議会　　編　集　議会広報編集委員会

〒505-8501　岐阜県加茂郡坂祝町取組４６－１８　☎０５７４-６６-２４０２（直通）
ホームページアドレス　http://www.town.sakahogi.gifu.jp
メールアドレス　gikaijimukyoku@town.sakahogi.gifu.jp

坂祝町ホームページ